

電発社員が歩道を清掃

電源開発松浦火力発電所（西山千里所長）の社員が12月17日、同発電所前の歩道の清掃活動を行いました。

住民団体や企業が、地元道路の一定区間（約500㍍）の環境美化活動を請け負う長崎県の道路アダプト事業の一環。同発電所は昨年1月に登録し、年4回の清掃活動に取り組んでいます。

この日は、社員約30人がほうきやごみ袋を手に、同発電所を出発。国道204号沿いの歩道の落ち葉を掃き、たばこの吸い殻などのごみを約1時間かけて拾い集めました。



マーコット収穫最盛期

志佐町の池成マーコット生産組合（石井英治組合長、6戸）の農家のビニールハウスで1月中旬、マーコットの収穫が行われました。（写真は岡本栄さん方）

今年の収量見込みは、例年より少なめですが、かん水と換気などの管理で糖度は14度以上。玉太りもよく、出来は上々です。

収穫されたマーコットは、低温貯蔵庫に約1か月間保管し、酸味を抜きながら完熟させ、主に関東・関西方面に贈答用として出荷されます。また、2月中旬には市内の高野直売所でも予約販売される予定です。



市民がミュージカルオペラに挑戦

子どもから高齢者まで誰でも出演できる市民参加型ミュージカルオペラ「魔法の笛と鈴」が12月22日、文化会館で行われました。

東京オペラ協会（石多エドワード代表）主催で、モーツァルト作曲の「魔笛」をミュージカル風にアレンジした。「ユニバーサルデザイン・ミュージカルオペラ」として全国各地で公演しています。

公演当日は、9月から練習をしてきた20人の市民が、歌や演技を披露。会場を訪れた約400人の観客は、市民の元気いっぱいのステージに魅了されていました。

まちの話題



福島町で青パト出発式

松浦地区連合防犯協会福島支部（金子幸男支部長）が12月21日、青色回転灯を装着した自家用車（青パト）11台で自主防犯パトロールを始めました。

登下校時の児童の安全確保や空き巣予防などが目的。町内全地区分の11台が配備されたことで、町内くまなく回ることができます。

出発式では、金子支部長が「青パトを中心に、町民が安心して暮らせるまちづくりに貢献したいです」とあいさつ。式後、パトカーなどとともに、町内一円のパト



ロールに出発しました。

東高生が園児に読み聞かせ

松浦東高の生活科学部の部員が12月20日、今福保育所で読み聞かせを行いました。

同部は、毎月の今福保育所での読み聞かせや、文化祭での読み聞かせを行っています。

今回は、部員3人がクリスマスにちなんだ2冊を読み聞かせ。園児たちは、高校生のお姉さんたちの話に食い入るように聞き入っていました。

また、部員みんなで作ったクリスマスの飾り付きの首飾りを園児にかけてあげました。



東高生が苗木を寄贈

松浦東高の生徒が12月18日、市役所表玄関の花壇に苗を植えました。



同校が進める地域貢献活動の一環で、毎年、公共施設に花を贈るなどの活動を続けています。

この日は、生産流通科の3年生8人がハボタン、パンジー、ピオラ計400本を植栽。花が咲きそろったときにきれいに見えるよう、横と縦のラインを合わせながら一つずつ丁寧に植え付けていきました。寄贈を受けた友広市長は「市役所が花で飾られ、来庁者にも喜んでもらえます」とお礼を述べました。

今福少年ソフトが今福神社を清掃

今福少年ソフトのメンバーが12月27日、今福神社の境内の清掃を行いました。

同クラブは、毎年初めに同神社に必勝安全祈願に訪れており、そのお礼の気持ちを込めて、氏子たちが多く訪れる時期の前に清掃を行っています。

3回目となるこの日は、同クラブの2年から6年までの23人が竹ぼうきやくまでを使って、約1時間かけて落ち葉などを集めました。

キャプテンの下條光希君（今福小6年）は「境内がきれいになって気持ちがいいです。3月に長崎市で開催される最後の大会『鐘杯』で、優勝できるように練習を頑張ります」と話してくれました。



こと 箏と尺八の音色に酔いしれる

箏曲「菊の会」創立35周年を記念した箏曲演奏会「箏と尺八による日本の韻 in 松浦」が12月16日、文化会館で開催されました。

箏曲「菊の会」（菊雅楽（山本）孝子主宰）は、佐世保市や長崎市を中心として、海外でも幅広く演奏活動を行っています。今回は、松浦市やその近隣の人たちにも演奏を聴いてもらいたいと、同会松浦支部（菊昊（森）三佐子代表）が主催したものです。

演奏会では、尺八の第一人者の藤原道山氏を招き、「吾妻獅子」「黒髪」などの古曲から、「焔」「風の歌」などの現代曲まで全14曲を披露。会場を訪れた500人の観客は、日本古来の楽器である箏や尺八、三絃の澄んだ音色に酔いしれました。



武道競技者が集結

平成20年松浦市武道始め式が1月12日、武道館で開催されました。

武道の繁栄と青少年の健全育成、新春の決意を新たにすることを目的に、初めて行われたものです。

この日は、空手・剣道・柔道・なぎなた・少林寺拳法の競技者、約100人が集結。式では、なぎなたジュニア教室の萩原千尋さん（上志佐小4年）が「春の大会に向けて、頑張って練習します」と抱負を述べました。式後、各競技ごとに演武を披露し、集まった保護者などから拍手が送られていました。



二酸化炭素を減らそう！

県地球温暖化対策協議会や県地球温暖化防止活動推進員などからなる「地球温暖化防止キャラバン隊」が1月16日、市役所を訪れました。

県が行っている二酸化炭素排出抑制のための啓発活動の一環で、同隊の山崎直樹^{なおき}団長（県環境政策課長）が1月中旬から2月上旬にかけて県内の各市町を尋ね、知事からのメッセージを届けているものです。

この日は、同隊員約20人が訪れ、市職員などが見守る中、山崎団長が「『低炭素社会の実現』に向けて、市民の皆さんへの普及啓発など地球温暖化対策の推進をお願いします」とメッセージを読み上げ、黒田副市長に手渡しました。



岡本キノさんが100歳

岡本キノさんが1月15日、入所している星鹿町の養護老人ホーム海光園で100歳の誕生日を迎えました。

岡本さんは、明治41年生まれで、子どもから玄孫まで合わせて48人います。若いころは食堂で働いたり、精肉店を営んだりしていました。現在は、海光園で入所者と一緒にレクリエーションを楽しむなどして過ごしています。縫い物が得意で、自分で針に糸を通し、ボタンつけなどもしています。

この日岡本さんは、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け、「生魚以外は何でもおいしく食べることが健康の秘訣です。施設の皆さんにもよくしていただき、とても感謝しています」と話していました。

これで市内の100歳以上の人は、14人になりました。



威勢よく初競り

日本有数のアジ・サバの水揚げ量を誇る松浦魚市場で1月6日、今年初の取引となる初競りが行われました。

この日は、入荷が集中したため昨年の5倍以上の約530トンが入荷。午前5時の1番競りから競り人と仲買人の大漁と商売繁盛を願う威勢のよい掛け声が響きわたり、水揚げされた新鮮なアジやサバなどが次々と競り落とされました。



出初式で防火・防災をPR

組織が統合されて初となる松浦市消防団の消防出初式が1月7日、文化会館で開催されました。

式には市内の消防団員など約650人が参加。新入団員の辞令交付や、永年勤続者・消防協力者の表彰などが行われました。

式後、中央公園から庄野橋までパレードした後、消防車両14台で一斉放水し、今年一年の防火・防災を市民にPRしました。



「110番の日」ポスター表彰

110番の日ポスターコンクールの署長賞表彰が1月15日、松浦警察署で行われました。

1月10日の「110番の日」を広く知らせるために、管内の小学校3校に募集。応募のあった70点から署長賞3点が選ばれました。

選ばれたのは、福島小6年松尾^{はるか}萌果さん（写真左）、田代小5年豊島^{みさと}美里さん（写真中央）、今福小6年下條^{こうき}光希君（写真右）の作品。

豊島さんは「事件が減るように、家族みんなを守ってもらえるように」という気持ちで書きました。選ばれてうれしいです」と話していました。

